

第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

資料編

目次

1	用語集	1
2	計画本編グラフデータ	5
3	市民等アンケート調査結果	1 1
4	ごみ組成調査結果	4 5
5	参考資料	6 4
6	草津市廃棄物減量等推進審議会	7 2
	・委員名簿		
	・諮問書(写)		
	・答申書(写)		
	・開催経過		
7	法律および条例	7 8

1 用語集

【あ行】

I o T

「I o T」とは、Internet of Things の略で、日本語では「モノのインターネット」を意味する。情報通信技術の概念を指す言葉で、これまで主にパソコンやスマートフォンなどの情報機器で接続していたインターネットに、産業用機器から自動車、家電製品まで、様々な「モノ」をつなげる技術。

一般廃棄物

産業廃棄物以外の廃棄物のこと。家庭生活に伴って排出される廃棄物だけでなく、事業活動に伴って発生する産業廃棄物以外の廃棄物も一般廃棄物である。

A I

Artificial Intelligence の略で、一般に「人工知能」と和訳される。コンピューターで、記憶・推論・判断・学習など、人間の知的機能を代行できるようにモデル化されたソフトウェア・システム。

エシカル消費

消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールのうち、特にゴール12【つくる責任 つかう責任】に関連する取組である。

SDGs

平成27（2015）年9月の第70回国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、国際社会全体が令和12（2030）年までに達成すべき17の目標である。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものである。



出典：国際連合広報センター

大阪湾広域臨海環境整備センター

通称は、大阪湾フェニックスセンター。大阪広域のごみ最終処分地を管理し、大阪湾に埋立処分場を設け、近畿2府4県168市町村（令和4年1月31日現在）の受入区域から発生した廃棄物を受け

入れている。

温室効果ガス

大気圏にあって、地表からの熱（赤外線）の一部を吸収し温室効果をもたらす二酸化炭素、メタンなどの気体の総称。地球温暖化の主な原因とされている。

【か行】

海洋プラスチック

私たちの普段の生活や経済活動から海に流れ着いたり、直接海や川に捨てられたりして、最終的に海洋に漂うプラスチックごみのこと。

家庭系一般廃棄物

家庭生活に伴って排出される一般廃棄物。本文中では、「家庭系ごみ」と表記している箇所もある。

拠点回収方式

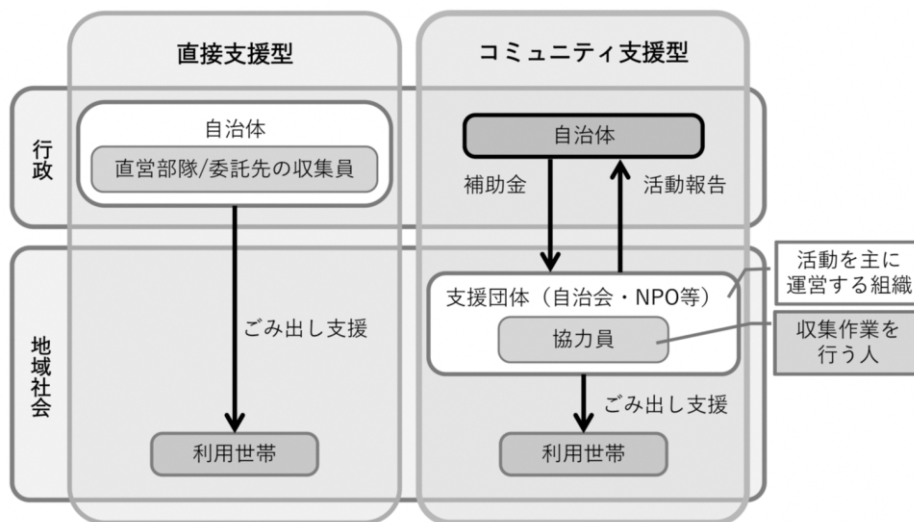
ごみの排出者が、主に公共施設等の定められた場所に持って行き、回収を行う方法。

戸別収集方式

排出者がごみを集積所へ出すのではなく、各家庭の玄関先や、集合住宅の前等、建物ごとに出してもらい、一軒ずつ収集していく方法。

ごみ出し支援

「ごみ出し支援」とは、ごみ出しが困難になった高齢者等に代わり、他の主体がごみ出しを手伝い、ごみを収集する仕組み。制度の運営も利用世帯からのごみ収集作業も、自治体が行う「直接支援型」と、自治会やNPO等の地域主体によるごみ出し支援活動を行政が補助金等で金銭的にバックアップする「コミュニティ支援型」の大きく2つのタイプがある。



【ざ行】

最終処分場

焼却等により減容（減量）処理を行っても残るもの（焼却灰等）を処分するための施設のこと。ごみ処

分場、ごみ埋立地、埋立処分場などとも呼ばれる。

再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短時間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと。

産業廃棄物

事業活動に伴って生じた廃棄物であって、廃棄物処理法で定めるもの。（燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類等）

3010 運動+

宴会開始後 30 分と終了前 10 分は自席で食事を楽しむ 3010 運動を中心とする「食品ロス削減」に「健康づくり」の取組を加えた運動のこと。

事業系一般廃棄物

事業活動に伴って発生する一般廃棄物。本文中では、「事業系ごみ」と表記している箇所もある。

資源循環型社会

大量生産・大量消費・大量廃棄型社会に代わるものとして、廃棄より排出抑制・再使用を第一に考え、資源を循環利用することにより、新たに採取する資源をできるだけ少なくし、環境への負荷を可能な限り低減した社会のこと。

集回収

新聞、雑誌、段ボールなどの古紙や古布などの資源ごみを、町内会や子ども会、PTA、マンション管理組合などの住民団体が回収し、再生資源業者に引き渡すことにより、有効な資源となる活動。

ごみの減量や資源化が推進されるとともに、地域コミュニティづくりにも役立つ活動。

焼却残さ

廃棄物の焼却後に燃え残るもの。

処理残さ

粗大ごみ処理施設等中間処理施設で処理された破碎ごみや中間処理により発生する可燃性の不純物などの不用なもの。

食品ロス

まだ食べられるものが捨てられていること。食べ残し、売れ残り、手付かずの食品などが廃棄されること。

ステーション方式

ごみの排出者が、地域で決められたごみ集積所にごみを出し、回収を行う方法。

ストーカー方式

焼却炉の種類のひとつ。ごみを可動する火格子上で移動させながら処理する焼却炉。

3 R

ごみを減らすための R ではじまる 3 つの行動

- | | | |
|------------------|----|-------------|
| ・Reduce (リデュース) | .. | ごみを発生させない |
| ・Reuse (リユース) | .. | 繰り返して使う |
| ・Recycle (リサイクル) | .. | 資源として再生利用する |

【た行】

脱炭素社会

地球温暖化の原因となっている「温室効果ガス」をゼロにする社会のこと。

地域循環共生圏

各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。

中間処理

焼却・破碎・選別等による減容（ごみの体積と重量を減らすこと）を行うこと。再生資源として利用できるものは選別回収する場合も中間処理に含まれる。

2 R

3 Rのうち、リサイクルを除きリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）のこと。

展開検査

処理施設に搬入されたごみをプラットホーム等に展開し、不適正なごみが含まれていないか中身を確認すること。

【な行】

生ごみの堆肥化

微生物の働きによって生ごみを分解し、肥料を作るといったもの。

【は行】

バイオマス・プラスチック

再生可能なバイオマス資源を原料に、化学的または生物学的に合成することで得られるプラスチック。

【ら行】

ライフサイクル

経済社会の物質フローについて、資源確保、生産、流通、使用、再使用、再資源化、廃棄等の全ての段階を示す。

2 計画本編グラフデータ

● 表2-2 本市の1人1日当たりのごみ排出量の推移

各年度におけるごみ排出量 単位：t

		H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020
家庭系ごみ	A	24,926	24,801	25,002	24,812	24,374	24,374	24,334	24,402	24,028	24,119	24,803	25,590	26,582
事業系ごみ	B	15,475	15,304	14,861	14,266	14,122	14,421	13,876	13,471	13,314	13,583	13,825	13,538	12,162
集団回収	C	3,981	4,025	4,089	4,234	4,364	4,551	4,366	4,146	3,774	3,593	3,401	3,197	2,586
合計		44,382	44,130	43,952	43,312	42,860	43,346	42,576	42,019	41,116	41,295	42,029	42,325	41,330

各年度における住民基本台帳に基づく人口

		H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020
人口[人]		119,123	120,632	122,423	124,595	125,611	126,853	128,603	130,048	131,258	132,588	133,667	134,658	135,839
日数[日]		365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365

各年度における1人1日当たりのごみ排出量 単位：g/人・日

		H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020
家庭系ごみ	※	573	563	560	544	532	526	518	513	501	498	508	519	536
事業系ごみ	※	356	348	333	313	308	312	296	283	278	281	283	275	246
集団回収	※	92	91	91	93	95	98	93	87	79	74	70	65	52
合計		1,021	1,002	984	950	935	936	907	883	858	853	861	859	834

※各1人1日当たりのごみ排出量については以下の算出方法となる。

1人1日当たりのごみ量 = 各年度におけるごみ排出量 (A, B, C) × 1,000,000 / 各年度における人口 / 日数

例：令和2年度の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量

$26,582 \text{ t} \times 1,000,000 / 135,839 \text{ 人} / 365 \text{ 日} = 536 \text{ g/人・日}$ (小数点以下四捨五入)

● 表2-10 ごみ処理経費の実績

年度	H20	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	2008	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ごみ処理経費 [円]	1,378,002,185	1,172,310,467	1,205,351,921	1,246,264,204	1,087,695,768	1,275,068,078	1,296,297,316	1,300,922,825
改計[百万]	1,378	1,172	1,205	1,246	1,088	1,275	1,296	1,301
人口[人]	119,123	128,603	130,048	131,258	132,588	133,667	134,658	135,839
1人当たり 処理経費[円]	11,568	9,116	9,269	9,495	8,204	9,539	9,627	9,577

例：令和2年度の1人当たり処理経費

$1,300,922,825 \text{ 円} / 135,839 \text{ 人} = 9,577 \text{ 円}$ (小数点以下四捨五入)

● 表2-11 家庭系ごみ排出量(資源ごみ除く)の推移

資源ごみを除く家庭系ごみ量 単位：t

		H20 2008	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020
普通ごみ類		20,232							
プラスチック		2,244							
小型破砕ごみ		170							
不燃物		480							
粗大ごみ		190							
合計		23,316							
焼却ごみ類			19,556	19,533	19,332	19,475	19,635	20,076	20,552
破砕ごみ類			447	540	495	532	683	747	838
陶器・ガラス類			268	284	267	271	321	306	343
粗大ごみ			331	346	356	387	787	1,117	1,236
合計			20,602	20,703	20,450	20,665	21,426	22,246	22,969
人口[人]		119,123	128,603	130,048	131,258	132,588	133,667	134,658	135,839
日数[日]		365	365	366	365	365	365	366	365

単位：g/人・日

家庭系ごみ排出量 (資源ごみ除く)	536	439	435	427	427	439	451	463
----------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

家庭系ごみ排出量 (資源ごみ除く) = 資源ごみを除く家庭系ごみ量 × 1,000,000 / 各年度における人口 / 日数

減量率[%]	—	18.1	18.8	20.3	20.3	18.1	15.9	13.6
--------	---	------	------	------	------	------	------	------

減量率 = (家庭系ごみ排出量 (資源ごみ除く) (平成20年度) - 家庭系ごみ排出量 (資源ごみ除く) (各年度)) / 家庭系ごみ排出量 (資源ごみ除く) (平成20年度) × 100

● 表2-12 事業系ごみ排出量の推移

	H20	単位：t						
	2008	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020
焼却ごみ	14,761	13,864	13,465	13,308	13,574	13,821	13,531	12,154
プラスチック	342	12	6	6	9	4	7	8
ペットボトル	1							
金属	6							
びん	8							
小型破砕	8							
不燃物	214							
電池	1							
蛍光管	1							
粗大ごみ	133							
合計	15,475	13,876	13,471	13,314	13,583	13,825	13,538	12,162

	人口[人]	単位：g/人・日						
人口[人]	119,123	128,603	130,048	131,258	132,588	133,667	134,658	135,839
日数[日]	365	365	366	365	365	365	366	365

事業系ごみ排出量	356	単位：g/人・日						
事業系ごみ排出量	356	296	283	278	281	283	275	245
事業系ごみ排出量 = 事業系ごみ量×1,000,000 / 各年度における人口 / 日数								

減量率[%]	—	単位：g/人・日						
減量率[%]	—	16.9	20.5	21.9	21.1	20.5	22.8	31.2

● 表2-13 リサイクル率の推移

年度	H20	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	2008	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ごみ収集量	40,401	38,210	37,873	37,342	37,702	38,628	39,128	38,744
集団回収量	3,981	4,366	4,146	3,774	3,593	3,401	3,197	2,586
市外ごみ搬出量	—	—	—	1,742	1,628	1,212	1,176	1,092
市内での堆肥化	—	—	—	—	—	74	136	88
合計 ①	44,382	42,576	42,019	42,858	42,923	43,315	43,637	42,510

年度	H20	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
	2008	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
クリーンセンターでの資源化量	2,900	3,809	3,881	3,725	3,586	3,662	3,826	4,201
集団回収量	3,981	4,366	4,146	3,774	3,593	3,401	3,197	2,586
市外での資源化量	—	—	—	1,175	1,109	1,163	1,169	1,086
市内での堆肥化	—	—	—	—	—	74	136	88
リサイクル家具	—	—	—	—	—	1	1	1
合計 ②	6,881	8,175	8,027	8,674	8,288	8,301	8,329	7,962

リサイクル率[%] ②/①	15.5	19.2	19.1	20.2	19.3	19.2	19.1	18.7
---------------	------	------	------	------	------	------	------	------

● 図3-3 1人1日当たりの家庭系ごみ量(集団回収量を除く)の推計

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032			
焼却ごみ類	393.9	388.9	382.5	381.9	381.7	385.8	392.7	386.4	387.4	388.4	389.4	390.3	391.3	392.3	393.3	394.3	395.3	396.3	397.2			
プラスチック製容器類	21.6	20.6	19.6	19.6	19.2	19.3	20.0	19.0	18.9	18.7	18.6	18.5	18.4	18.3	18.1	18.0	17.9	17.8	17.6			
ペットボトル類	5.4	5.3	5.4	5.3	5.7	5.8	6.0	6.1	6.1	6.4	6.6	6.7	6.9	7.0	7.2	7.3	7.5	7.6	7.8			
空き缶類	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5			
飲・食料用ガラスびん類	16.9	16.5	15.8	15.2	13.9	13.2	14.1	11.3	10.4	9.4	8.5	7.6	6.6	5.7	4.8	3.9	2.9	2.0	1.1			
破碎ごみ類	9.0	10.8	9.8	10.4	13.3	14.3	16.0	17.8	19.4	21.1	22.7	24.4	26.0	27.7	29.3	31.0	32.7	34.3	36.0			
陶器・ガラス類	5.4	5.6	5.3	5.3	6.2	5.9	6.6	6.7	7.1	7.4	7.8	8.2	8.6	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.6			
乾電池	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
蛍光管	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
粗大ごみ	6.7	6.9	7.0	7.6	15.3	21.5	23.6	30.7	35.8	40.9	46.0	51.1	56.2	61.3	66.4	71.4	76.4	81.6	86.7			
新聞・広告	10.2	9.8	9.0	7.7	6.9	6.4	6.6	5.8	5.4	5.2	4.9	4.6	4.4	4.1	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2			
雑誌・雑紙	9.1	9.1	8.5	7.8	7.6	7.4	7.8	6.6	6.3	6.1	5.8	5.5	5.3	5.1	4.8	4.6	4.4	4.2	4.0			
段ボール	6.8	7.1	7.4	7.2	7.2	7.1	9.0	6.9	6.9	6.8	6.7	6.6	6.6	6.5	6.4	6.3	6.3	6.2	6.1			
合計	490.2	485.8	475.4	473.0	482.2	491.8	507.9	502.4	508.9	515.5	522.1	528.7	535.4	542.2	548.9	555.7	562.6	569.5	576.5			

● 図3-4 1人1日当たりの集団回収量の推計

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032			
段ボール	21.9	20.4	16.0	15.7	15.3	14.6	13.9	13.7	13.3	12.8	12.3	11.9	11.4	10.9	10.5	10.0	9.5	9.1	8.6			
新聞	45.3	41.8	39.0	35.4	32.6	28.7	20.9	25.8	24.4	23.0	21.8	20.7	19.6	18.6	17.6	16.7	15.8	14.9	14.1			
雑誌	16.1	15.6	15.5	15.0	14.1	14.1	13.1	13.0	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	9.5	9.0	8.6	8.0	7.6			
繊維類	4.6	4.7	4.2	4.3	4.1	4.0	1.6	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2			
合計	87.9	82.5	74.7	70.4	66.1	61.4	49.5	56.4	54.0	51.6	49.3	47.2	45.1	43.0	41.0	39.1	37.2	35.3	33.5			

● 図3-5 1人1日当たりの事業系ごみ量の推計

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032			
焼却ごみ類	279.3	268.1	263.3	266.2	268.6	260.1	232.2	264.4	265.3	265.5	267.1	268.0	269.2	269.7	271.7	272.9	274.2	275.8	278.9			
粗大ごみ	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
合計	279.5	268.2	263.4	266.4	268.7	260.2	232.4	264.5	265.4	265.6	267.2	268.1	269.3	269.8	271.8	273.0	274.3	275.9	279.0			

● 図3-6 1人1日当たりの総ごみ量(家庭系+集団回収+事業系)の推計

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032			
家庭系ごみ	490.2	485.8	475.4	473.0	482.2	491.8	507.9	502.4	508.9	515.5	522.1	528.7	535.4	542.2	548.9	555.7	562.6	569.5	576.5			
事業系ごみ	279.5	268.2	263.4	266.4	268.7	260.2	232.4	264.4	265.3	265.6	267.2	268.1	269.3	269.8	271.8	273.0	274.3	275.9	279.0			
集団回収	87.9	82.5	74.7	70.4	66.1	61.4	49.5	56.4	54.0	51.6	49.3	47.2	45.1	43.0	41.0	39.1	37.2	35.3	33.5			
合計	857.6	836.5	813.5	809.8	817.0	813.4	789.8	823.2	828.2	832.7	838.6	844.0	849.8	855.0	861.7	867.8	874.1	880.7	889.0			

● 図3-7 本市の総ごみ量の推計

計画期間前の本市の総ごみ量の推計 単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
焼却ごみ類	393.9	388.9	382.5	381.9	381.7	385.8	392.7	386.4	387.4	388.4	389.4	390.3	391.3	392.3	393.3	394.3	395.3	396.3	397.2			
プラスチック製容器類	21.6	20.6	19.6	19.6	19.2	19.3	20.0	19.0	18.9	18.7	18.6	18.5	18.4	18.3	18.1	18.0	17.9	17.8	17.6			
ペットボトル類	5.4	5.3	5.4	5.3	5.7	5.8	6.0	6.1	6.1	6.4	6.6	6.7	6.9	7.0	7.2	7.3	7.5	7.6	7.8			
空き缶類	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5			
飲・食料用ガラスびん類	16.9	16.5	15.8	15.2	13.9	13.2	14.1	11.3	10.4	9.4	8.5	7.6	6.6	5.7	4.8	3.9	2.9	2.0	1.1			
破砕ごみ類	9.0	10.8	9.8	10.4	13.3	14.3	16.0	17.8	19.4	21.1	22.7	24.4	26.0	27.7	29.3	31.0	32.7	34.3	36.0			
陶器・ガラス類	5.4	5.6	5.3	5.3	6.2	5.9	6.6	6.7	7.1	7.4	7.8	8.2	8.6	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.6			
乾電池	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
蛍光管	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
粗大ごみ	6.7	6.9	7.0	7.6	15.3	21.5	23.6	30.7	35.8	40.9	46.0	51.1	56.2	61.3	66.4	71.4	76.4	81.6	86.7			
新聞・広告	10.2	9.8	9.0	7.7	6.9	6.4	6.6	5.8	5.4	5.2	4.9	4.6	4.4	4.1	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2			
雑誌・雑紙	9.1	9.1	8.5	7.8	7.6	7.4	7.8	6.6	6.3	6.1	5.8	5.5	5.3	5.1	4.8	4.6	4.4	4.2	4.0			
段ボール	6.8	7.1	7.4	7.2	7.2	7.1	9.0	6.9	6.9	6.8	6.7	6.6	6.6	6.5	6.4	6.3	6.3	6.2	6.1			
集団回収	21.9	20.4	16.0	15.7	15.3	14.6	13.9	13.7	13.3	12.8	12.3	11.9	11.4	10.9	10.5	10.0	9.5	9.1	8.6			
新聞	45.3	41.8	39.0	35.4	32.6	28.7	20.9	25.8	24.4	23.0	21.8	20.7	19.6	18.6	17.6	16.7	15.8	14.9	14.1			
雑誌	16.1	15.6	15.5	15.0	14.1	14.1	13.1	13.0	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	9.5	9.0	8.6	8.0	7.6			
繊維類	4.6	4.7	4.2	4.3	4.1	4.0	1.6	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2			
事業系	279.3	268.1	263.3	266.2	268.6	260.1	232.2	264.3	265.2	265.5	267.1	268.0	269.2	269.7	271.7	272.9	274.2	275.8	278.9			
粗大ごみ	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
合計	857.6	836.5	813.5	809.8	817.0	813.4	789.8	823.2	828.2	832.7	838.6	844.0	849.8	855.0	861.7	867.8	874.1	880.7	889.0			
人口(人)	136,016	137,247	138,478	139,708	140,939	142,169	143,400	143,880	144,360	144,840	145,320	145,800	146,280	146,760	147,240	147,720	148,200	148,680	149,160			
日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	366	365	366	365	366	365	366	365	366	365	366			
総ごみ量推計値(t)	42,576	42,019	41,116	41,295	42,029	42,325	41,330	43,233	43,641	44,140	44,483	44,916	45,324	45,824	46,161	46,589	47,025	47,429	47,659			

※ 小数点第2位以下の端数処理により総ごみ量推計値が異なる場合がある。

● 図3-13 計画期間前の施策の導入による本市の総ごみ量の将来推計

1人1日当たりのごみ量 単位：g/人・日

年度	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
家庭系ごみ	490.2	485.8	475.4	473.0	482.2	491.8	507.9	502.4	508.9	515.5	522.1	528.7	535.4	542.2	548.9	555.7	562.6	569.5	576.5			
事業系ごみ	279.5	268.2	263.4	266.4	268.7	260.2	232.4	264.4	265.3	265.6	267.2	268.1	269.3	269.8	271.8	273.0	274.3	275.9	279.0			
集団回収	87.9	82.5	74.7	70.4	66.1	61.4	49.5	56.4	54.0	51.6	49.3	47.2	45.1	43.0	41.0	39.1	37.2	35.3	33.5			
合計	857.6	836.5	813.5	809.8	817.0	813.4	789.8	823.2	828.2	832.7	838.6	844.0	849.8	855.0	861.7	867.8	874.1	880.7	889.0			
人口(人)	136,016	137,247	138,478	139,708	140,939	142,169	143,400	143,880	144,360	144,840	145,320	145,800	146,280	146,760	147,240	147,720	148,200	148,680	149,160			
日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	366	365	366	365	366	365	366	365	366	365	366			

計画期間前の本市の総ごみ量の将来推計 単位：t

年度	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
家庭系ごみ	24,334	24,402	24,028	24,119	24,803	25,590	26,582	26,385	26,815	27,325	27,690	28,136	28,555	29,057	29,404	29,834	30,269	30,672	30,907			
事業系ごみ	13,876	13,471	13,314	13,583	13,825	13,538	12,162	13,888	13,983	14,077	14,173	14,268	14,365	14,462	14,560	14,658	14,757	14,856	14,957			
集団回収	4,366	4,146	3,774	3,593	3,401	3,197	2,586	2,960	2,843	2,738	2,620	2,512	2,404	2,305	2,197	2,097	1,999	1,901	1,795			
合計	42,576	42,019	41,116	41,295	42,029	42,325	41,330	43,233	43,641	44,140	44,483	44,916	45,324	45,824	46,161	46,589	47,025	47,429	47,659			

事前申請制度および古紙資源化等による減量効果 単位：t

事前申請制度による減量効果(家庭系)	0	-278	-854	-1,148	-1,419	-1,699	-1,977	-2,265	-2,536	-2,817	-3,099	-3,379	-3,631
古紙資源化等による減量効果(事業系)	0	-206	-348	-352	-357	-361	-366	-370	-375	-379	-384	-388	-393

計画期間前の施策の導入による本市の総ごみ量の将来推計 単位：t

年度	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
家庭系ごみ	24,334	24,402	24,028	24,119	24,803	25,590	26,582	26,107	25,961	26,177	26,271	26,437	26,578	26,792	26,868	27,017	27,170	27,293	27,276			
事業系ごみ	13,876	13,471	13,314	13,583	13,825	13,538	12,162	13,682	13,635	13,725	13,816	13,907	13,999	14,092	14,185	14,279	14,373	14,468	14,564			
集団回収	4,366	4,146	3,774	3,593	3,401	3,197	2,586	2,960	2,843	2,738	2,620	2,512	2,404	2,305	2,197	2,097	1,999	1,901	1,795			
合計	42,576	42,019	41,116	41,295	42,029	42,325	41,330	42,749	42,439	42,640	42,707	42,856	42,981	43,189	43,250	43,393	43,542	43,662	43,635			

※ 小数点第2位以下の端数処理により総ごみ量推計値が異なる場合がある。

● P41 「4 参考指標(ベンチマーク) (3)ごみ埋立(最終)処分量」

単位：t

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
搬入委託量	4,561	4,461	4,457	4,491	4,532	4,571	4,379	4,413	4,455	4,499	4,539	4,568

※令和2年11月24日付で大阪湾広域臨海環境整備センターから依頼のあった「大阪湾圏域広域処理場整備基本計画」の変更に向けた広域処分委託量等の調査への回答に基づく。

● 図5-1 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量将来推計－目標達成－

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
焼却ごみ類	393.9	388.9	382.5	381.9	381.7	385.8	392.7	386.4	377.6	368.2	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7			
プラスチック製容器類	21.6	20.6	19.6	19.6	19.2	19.3	20.0	19.0	18.9	18.7	18.6	18.5	18.4	18.3	18.1	18.0	17.9	17.8	17.6			
ペットボトル類	5.4	5.3	5.4	5.3	5.7	5.8	6.0	6.1	6.1	6.4	6.6	6.7	6.9	7.0	7.2	7.3	7.5	7.7	7.8			
空き缶類	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5			
飲・食料用ガラスびん類	16.9	16.5	15.8	15.2	13.9	13.2	14.1	11.3	10.4	9.4	8.5	7.6	6.6	5.7	4.8	3.9	2.9	2.0	1.1			
破碎ごみ類	9.0	10.8	9.8	10.4	13.3	14.3	16.0	17.8	19.4	21.1	22.7	24.4	26.0	27.7	29.3	31.0	32.7	34.3	36.0			
陶器・ガラス類	5.4	5.6	5.3	5.3	6.2	5.9	6.6	6.7	7.1	7.4	7.8	8.2	8.6	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.6			
乾電池	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
蛍光管	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
粗大ごみ	6.7	6.9	7.0	7.6	15.3	21.5	23.6	25.4	19.3	19.2	19.2	19.1	19.1	19.0	19.0	19.0	18.9	18.9	19.0			
新聞・広告	10.2	9.8	9.0	7.7	6.9	6.4	6.6	5.8	5.5	5.2	4.9	4.6	4.4	4.2	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2			
雑誌・雑紙	9.1	9.1	8.5	7.8	7.6	7.4	7.8	6.6	9.6	9.3	9.0	8.7	8.5	8.2	8.0	7.8	7.6	7.4	7.2			
段ボール	6.8	7.1	7.4	7.2	7.2	7.1	9.0	6.9	6.9	6.8	6.7	6.6	6.6	6.5	6.4	6.3	6.3	6.2	6.1			
合計	490.2	485.8	475.4	473.0	482.2	491.8	507.9	497.1	486.0	476.8	463.8	464.3	464.9	465.5	466.2	466.9	467.7	468.5	469.5			

● 図5-2 1人1日当たりの集団回収量将来推計－目標達成－

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
段ボール	21.9	20.4	16.0	15.7	15.3	14.6	13.9	13.7	13.3	12.8	12.3	11.9	11.4	10.9	10.5	10.0	9.5	9.1	8.6			
新聞	45.3	41.8	39.0	35.4	32.6	28.7	20.9	25.8	24.4	23.0	21.9	20.7	19.6	18.6	17.6	16.6	15.8	14.9	14.1			
雑誌	16.1	15.6	15.5	15.0	14.1	14.1	13.1	13.0	18.7	18.0	17.5	17.0	16.5	16.0	15.5	15.0	14.5	14.1	13.6			
繊維類	4.6	4.7	4.2	4.3	4.1	4.0	1.6	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2			
合計	87.9	82.5	74.7	70.4	66.1	61.4	49.5	56.4	60.2	57.6	55.4	53.2	51.1	49.0	47.0	45.0	43.1	41.3	39.5			

● 図5-3 1人1日当たりの事業系ごみ排出量将来推計－目標達成－

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
焼却ごみ類	279.3	268.1	263.3	266.2	268.6	260.1	232.2	260.4	258.6	252.3	244.2	244.3	244.2	244.2	244.2	244.3	244.2	244.2	244.2			
粗大ごみ	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
合計	279.5	268.2	263.4	266.4	268.7	260.2	232.4	260.5	258.7	252.4	244.3	244.4	244.3	244.3	244.3	244.4	244.3	244.3	244.3			

● 図5-4 1人1日当たりの総ごみ量将来推計(家庭系+集団回収+事業系)―目標達成―

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
家庭系ごみ	490.2	485.8	475.4	473.0	482.2	491.8	507.9	497.1	486.0	476.8	463.8	464.3	464.9	465.5	466.2	466.9	467.7	468.5	469.5			
事業系ごみ	279.5	268.2	263.4	266.4	268.7	260.2	232.4	260.5	258.7	252.4	244.3	244.4	244.3	244.3	244.3	244.4	244.3	244.3	244.3			
集団回収	87.9	82.5	74.7	70.4	66.1	61.4	49.5	56.4	60.2	57.6	55.4	53.2	51.1	49.0	47.0	45.0	43.1	41.3	39.5			
合計	857.6	836.5	813.5	809.8	817.0	813.4	789.8	814.0	804.9	786.8	763.5	761.9	760.3	758.8	757.5	756.3	755.1	754.1	753.3			

● 図5-5 本市の総ごみ量将来推計(家庭系+集団回収+事業系)―目標達成―

単位：g/人・日

	実績								予測													
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032			
家庭系	焼却ごみ類	393.9	388.9	382.5	381.9	381.7	385.8	392.7	386.4	377.6	368.2	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7	354.7		
	プラスチック製容器類	21.6	20.6	19.6	19.6	19.2	19.3	20.0	19.0	18.9	18.7	18.6	18.5	18.4	18.3	18.1	18.0	17.9	17.8	17.6		
	ペットボトル類	5.4	5.3	5.4	5.3	5.7	5.8	6.0	6.1	6.1	6.4	6.6	6.7	6.9	7.0	7.2	7.3	7.5	7.7	7.8		
	空き缶類	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5		
	飲・食料用ガラスびん類	16.9	16.5	15.8	15.2	13.9	13.2	14.1	11.3	10.4	9.4	8.5	7.6	6.6	5.7	4.8	3.9	2.9	2.0	1.1		
	破碎ごみ類	9.0	10.8	9.8	10.4	13.3	14.3	16.0	17.8	19.4	21.1	22.7	24.4	26.0	27.7	29.3	31.0	32.7	34.3	36.0		
	陶器・ガラス類	5.4	5.6	5.3	5.3	6.2	5.9	6.6	6.7	7.1	7.4	7.8	8.2	8.6	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.6		
	乾電池	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	蛍光灯	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	粗大ごみ	6.7	6.9	7.0	7.6	15.3	21.5	23.6	25.4	19.3	19.2	19.2	19.1	19.1	19.0	19.0	19.0	18.9	18.9	19.0		
	新聞・広告	10.2	9.8	9.0	7.7	6.9	6.4	6.6	5.8	5.5	5.2	4.9	4.6	4.4	4.2	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2		
	雑誌・雑紙	9.1	9.1	8.5	7.8	7.6	7.4	7.8	6.6	9.6	9.3	9.0	8.7	8.5	8.2	8.0	7.8	7.6	7.4	7.2		
段ボール	6.8	7.1	7.4	7.2	7.2	7.1	9.0	6.9	6.9	6.8	6.7	6.6	6.6	6.5	6.4	6.3	6.3	6.2	6.1			
集団回収	段ボール	21.9	20.4	16.0	15.7	15.3	14.6	13.9	13.7	13.3	12.8	12.3	11.9	11.4	10.9	10.5	10.0	9.5	9.1	8.6		
	新聞	45.3	41.8	39.0	35.4	32.6	28.7	20.9	25.8	24.4	23.0	21.9	20.7	19.6	18.6	17.6	16.6	15.8	14.9	14.1		
	雑誌	16.1	15.6	15.5	15.0	14.1	14.1	13.1	13.0	18.7	18.0	17.5	17.0	16.5	16.0	15.5	15.0	14.5	14.1	13.6		
	繊維類	4.6	4.7	4.2	4.3	4.1	4.0	1.6	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2		
事業系	焼却ごみ類	279.3	268.1	263.3	266.2	268.6	260.1	232.2	260.4	258.6	252.3	244.2	244.3	244.2	244.2	244.2	244.3	244.2	244.2	244.2		
	粗大ごみ	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
合計	857.6	836.5	813.5	809.8	817.0	813.4	789.8	814.0	804.9	786.8	763.5	761.9	760.3	758.8	757.5	756.3	755.1	754.1	753.3			
人口(人)	136,016	137,247	138,478	139,708	140,939	142,169	143,400	143,880	144,360	144,840	145,320	145,800	146,280	146,760	147,240	147,720	148,200	148,680	149,160			
日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365			
総ごみ量推計値(t)	42,576	42,019	41,116	41,295	42,029	42,325	41,330	42,749	42,409	41,711	40,500	40,544	40,550	40,670	40,578	40,600	40,626	40,613	40,383			

※ 小数点第2位以下の端数処理により総ごみ量推計値が異なる場合がある。

3 市民等アンケート調査結果

●市民アンケート調査結果

1. 調査概要

1) 調査の目的

市民アンケートは、ごみの減量化や資源化、リサイクルに対する関心度、実際の実施や各施策の認知度について調査を行い、現状の把握や市民の意見、行政への要望等を把握しました。

2) 調査対象、調査期間

草津市内に在住する満18歳以上の市民3,000人（令和元（2019）年12月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出）を対象としました。

実施期間は以下のとおりです。

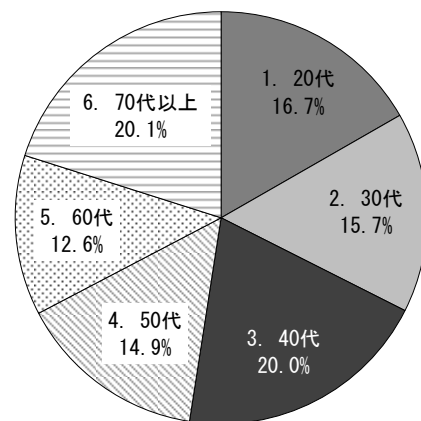
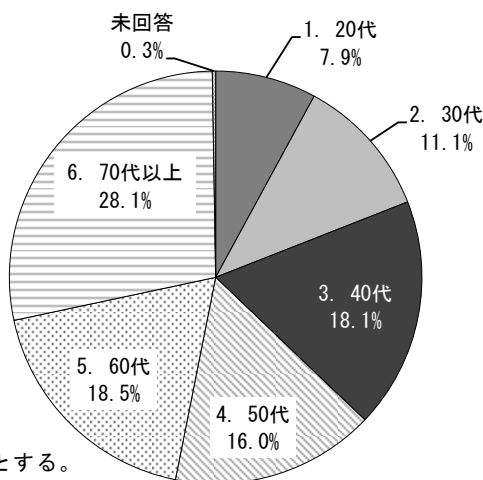
調査開始日	2019年12月7日（土）
回答締切日	2019年12月25日（水）（12月27日（金）到着分）

3) 回収結果（回答数：1,160件、回答率：38.7%）※回答数のうち88件はインターネット回答者

① 年齢

	回答数
1. 20代※	92
2. 30代	129
3. 40代	210
4. 50代	185
5. 60代	215
6. 70代以上	326
未回答	3
合計	1,160

※20代には18歳、19歳も含めるものとする。

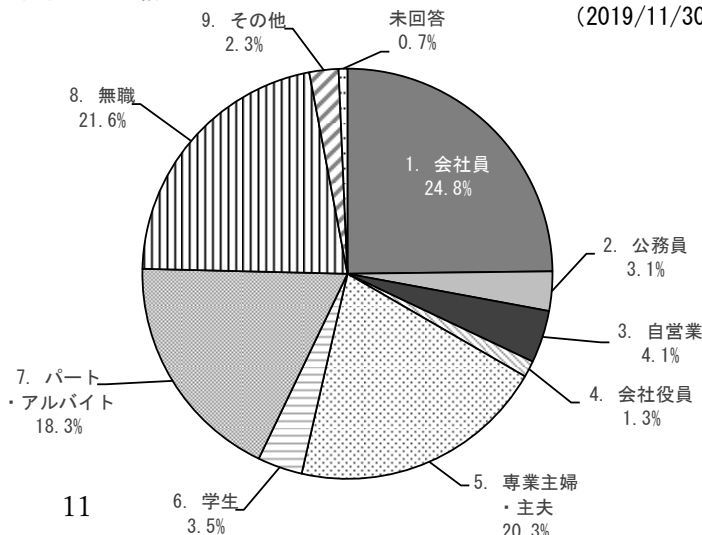


② 職業

	回答数
1. 会社員	288
2. 公務員	36
3. 自営業	48
4. 会社役員	15
5. 専業主婦・主夫	235
6. 学生	41
7. パート・アルバイト	212
8. 無職	251
9. その他	26
未回答	8
合計	1,160

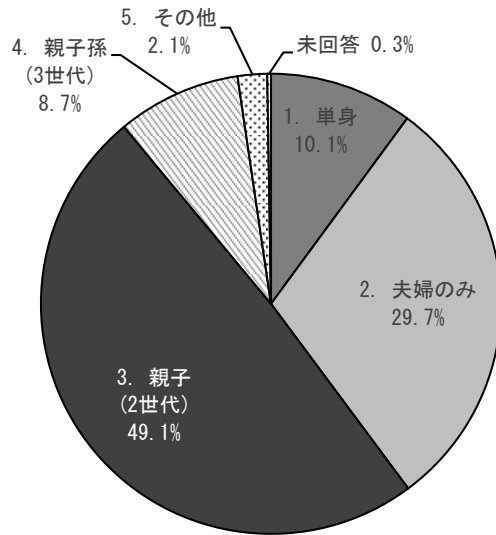
回答者の年齢構成

【参考】市の年齢別人口割合 (2019/11/30現在)



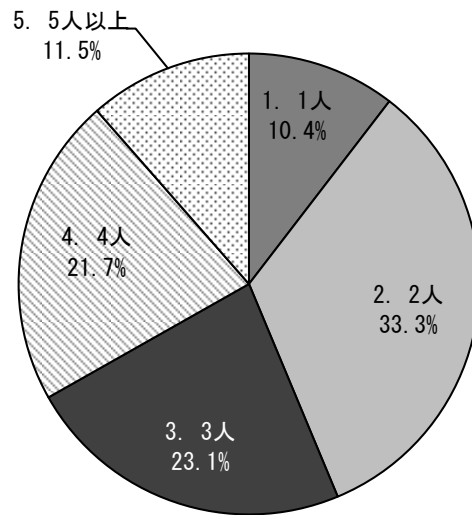
③ 世帯構成

	回答数
1. 単身	117
2. 夫婦のみ	345
3. 親子(2世代)	570
4. 親子孫(3世代)	101
5. その他	24
未回答	3
合計	1,160



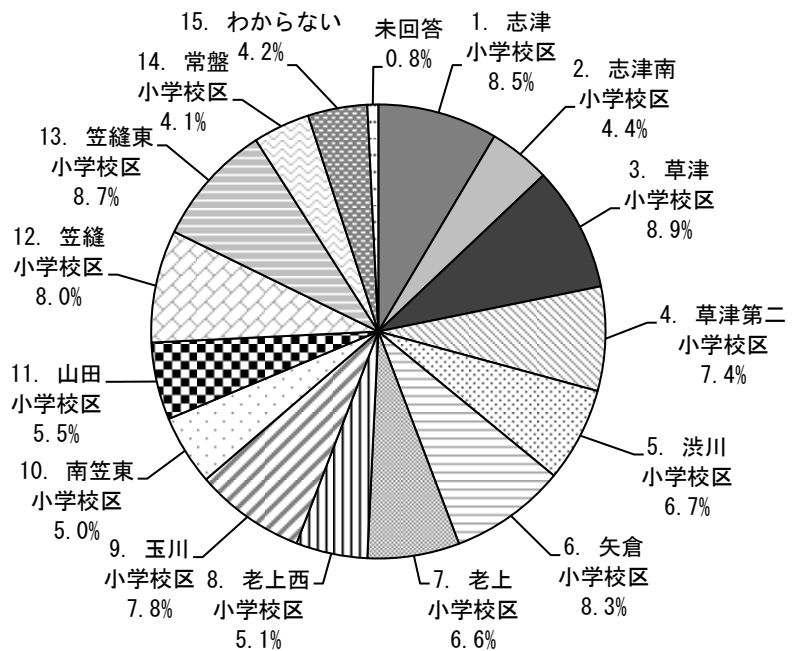
④ 世帯人数

	回答数
1. 1人	121
2. 2人	386
3. 3人	268
4. 4人	252
5. 5人以上	133
未回答	0
合計	1,160



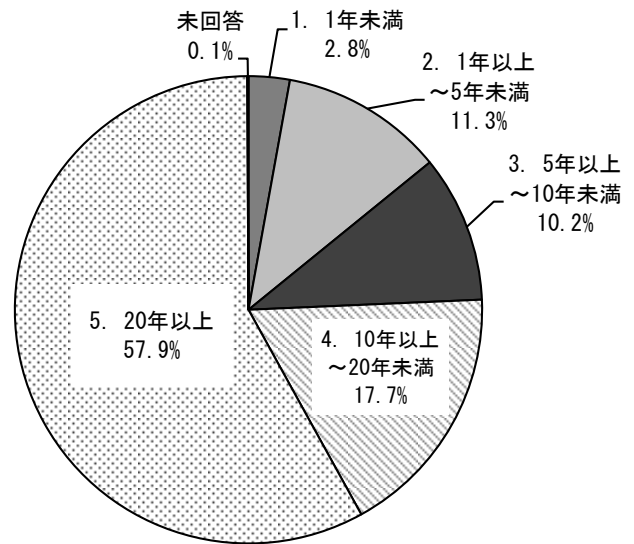
⑤ 居住地区

	回答数
1. 志津小学校区	99
2. 志津南小学校区	51
3. 草津小学校区	103
4. 草津第二小学校区	86
5. 洪川小学校区	78
6. 矢倉小学校区	96
7. 老上小学校区	76
8. 老上西小学校区	59
9. 玉川小学校区	91
10. 南笠東小学校区	58
11. 山田小学校区	64
12. 笠縫小学校区	93
13. 笠縫東小学校区	101
14. 常盤小学校区	47
15. わからない	49
未回答	9
合計	1,160



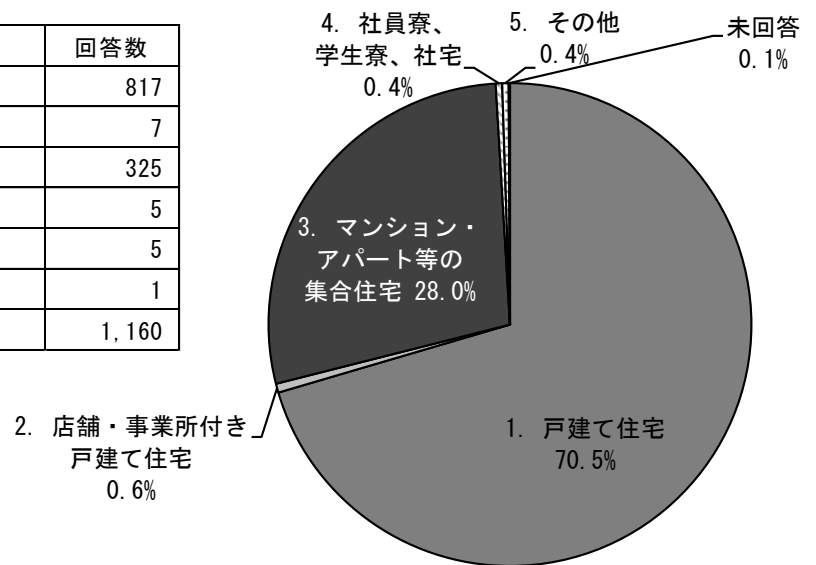
⑥ 居住年数

	回答数
1. 1年未満	33
2. 1年以上～5年未満	131
3. 5年以上～10年未満	118
4. 10年以上～20年未満	205
5. 20年以上	672
未回答	1
合計	1,160



⑦ 居住形態

	回答数
1. 戸建て住宅	817
2. 店舗・事業所付き戸建て住宅	7
3. マンション・アパート等の集合住宅	325
4. 社員寮、学生寮、社宅	5
5. その他	5
未回答	1
合計	1,160

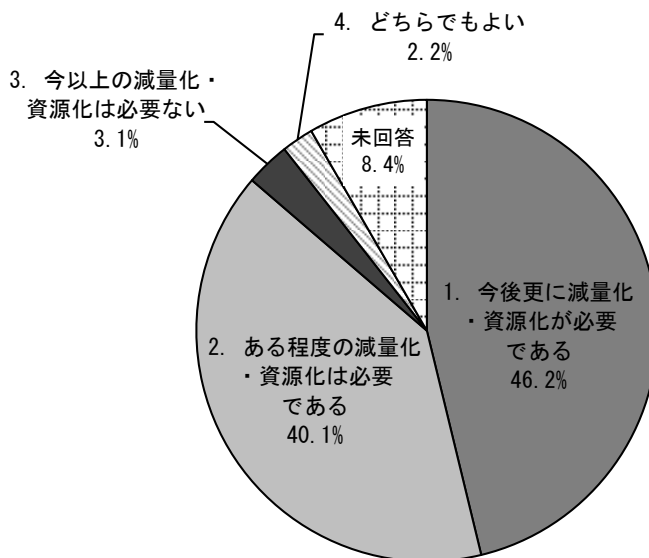


【1. ごみの減量化・資源化について】

目的 ごみの減量化等に対する意識を調査・把握する。回答者属性とのクロス分析によりターゲットを絞り、施策につなげる。

問1 資源の有効利用、ごみの最終処分場（埋立地）の問題、ごみ処理経費の低減などの観点から、ごみの減量等が必要だと言われていますが、あなたは、ごみの減量化、資源化についてどう思いますか。（○は1つ）

	回答数
1. 今後更に減量化・資源化が必要である	536
2. ある程度の減量化・資源化は必要である	465
3. 今以上の減量化・資源化は必要ない	36
4. どちらでもよい	26
未回答	97
合計	1,160



【結果概要】

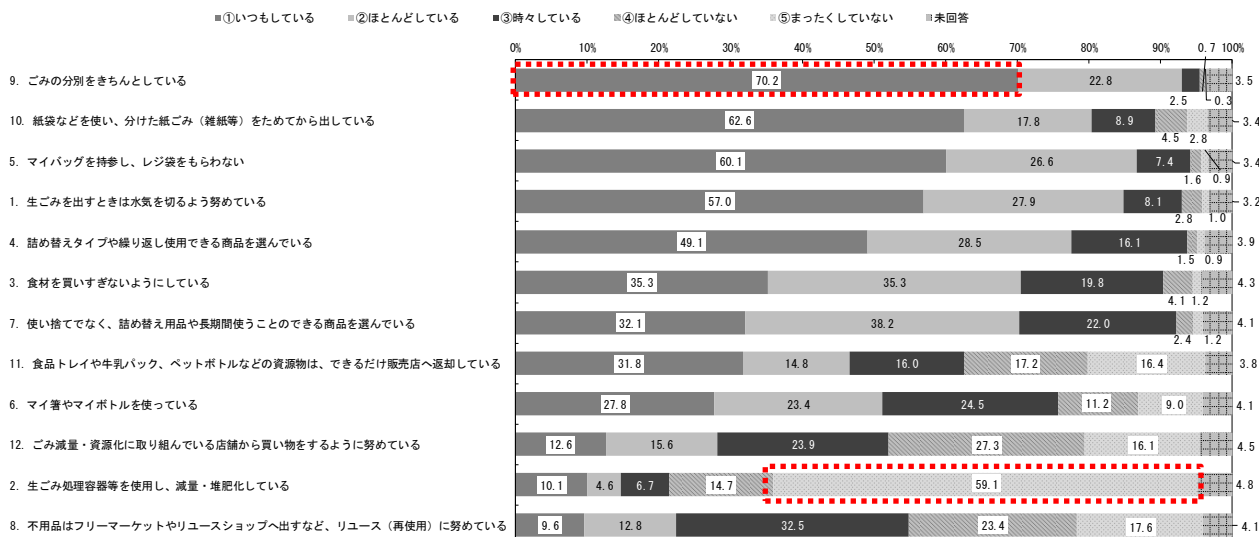
「1. 今後更に必要である」が46.2%と最も高く、次いで「2. ある程度必要である」が40.1%となっています。これらを合わせると86.3%となり、多くの市民の方がごみの減量化・資源化が必要だと考えています。一方で、「3. 今以上必要ない」、「4. どちらでもよい」合わせて約5%の方は、特にごみの減量化・資源化の必要性を感じていないといった結果となりました。

【2. ごみの減量化・資源化の取り組みについて】

目的

ごみの減量化等に対する実際の取り組みを調査・把握する。取組ごとの回答結果や回答者属性とのクロス分析により、ターゲットを絞り、施策につなげる。

問2 ごみの減量化、資源化に関する以下の各項目について、どの程度取り組んでいますか？
あてはまるものをそれぞれ1つ選び、該当する数字に○をしてください。



【結果概要】

「いつもしている」という回答が最も多かったのは、「9. ごみの分別」で70.2%、一方、「まったくしていない」という回答が最も多かったのは、「2. 生ごみ処理容器」で59.1%でした。

選択肢の「時々している（表中黒色）」が中央より右にある項目は比較的取り組みが進んでおり、左にあるものはあまり進んでいないことが読み取れます。

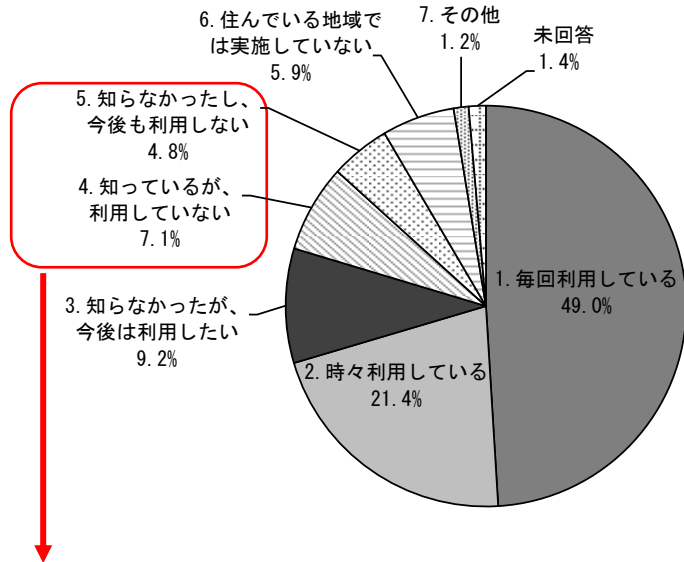
【3. 資源回収活動の利用状況について】

目的

- ・近年減少傾向にある資源回収活動の利用状況や認知度について把握する。
- ・利用しない方の理由を把握し、回収量の増加（資源化率の向上）につながるよう検討する。

問3-1 町内会やPTA、子ども会などが行う資源回収を利用していますか。(〇は1つ)

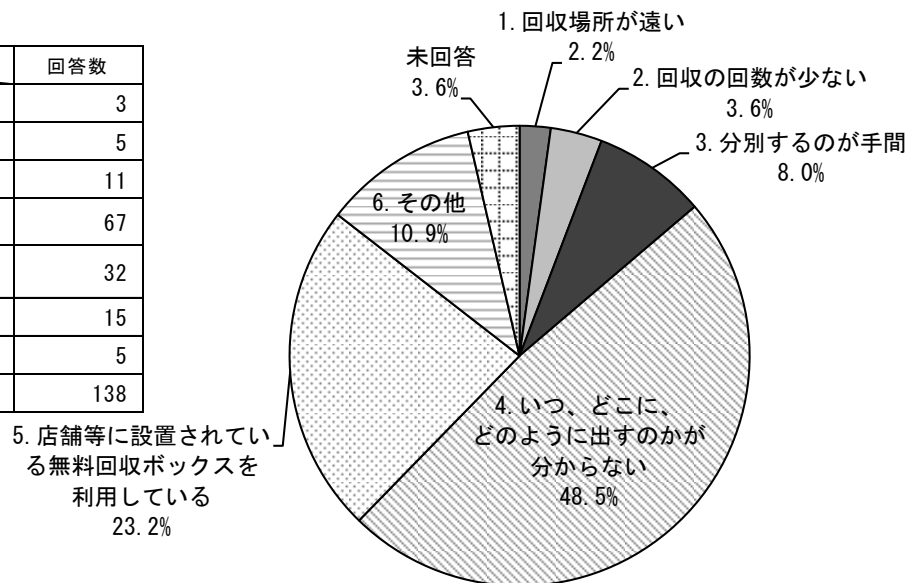
	回答数
1. 毎回利用している	569
2. 時々利用している	248
3. 知らなかったが、今後は利用したい	107
4. 知っているが、利用していない	82
5. 知らなかったし、今後も利用しない	56
6. 住んでいる地域では実施していない	68
7. その他	14
未回答	16
合計	1,160



問3-2 問3-1で4、5に〇をつけた方にお聞きします。

その理由は、次のどれですか。(〇は1つ)

	回答数
1. 回収場所が遠い	3
2. 回収の回数が少ない	5
3. 分別するのが手間	11
4. いつ、どこに、どのように出すのが分からない	67
5. 店舗等に設置されている無料回収ボックスを利用している	32
6. その他	15
未回答	5
合計	138



【結果概要】

問3-1では「1. 毎回利用」、「2. 時々利用」合わせて約70%が資源回収活動を利用しています。

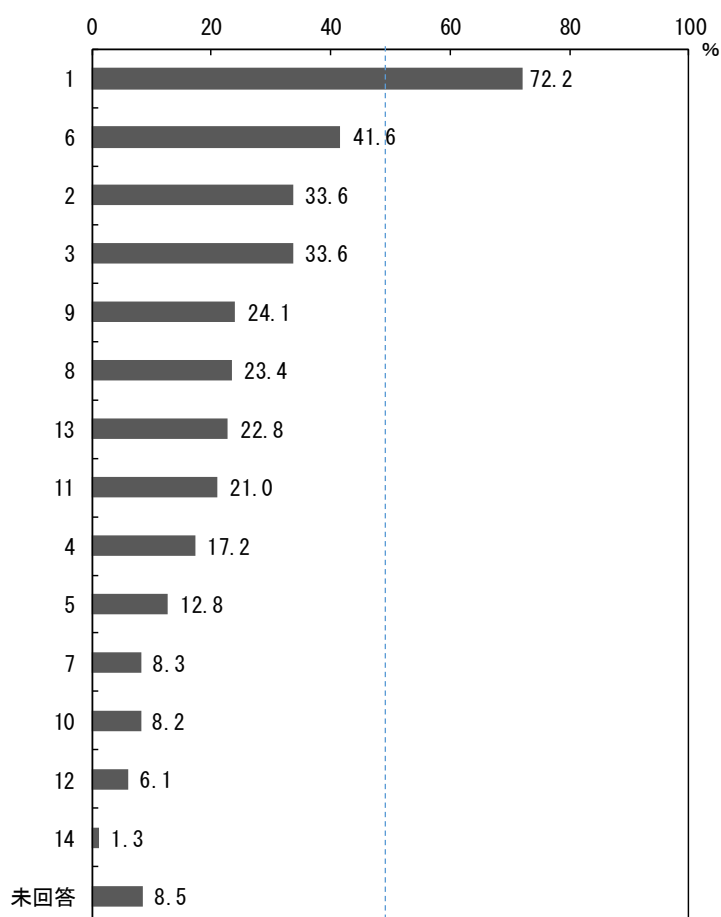
また、「4. 知っているが、利用していない」と「5. 知らなかったし、今後も利用しない」の約12%について、問3-2でその理由を調査したところ、約半数が「4. いつ、どこに、どのように出すのが分からない」ことを挙げています。次いで「5. 店舗等に設置されている無料回収ボックスを利用している」が23.2%となっています。

【4. 草津市の実施施策の周知について】

目的 ごみの施策の認知度を把握し、認知度の低いものの周知啓発方法を検討する。

問4 草津市が行っているごみの施策について、知っているものをすべてお選びください。
(○はいくつでも)

	回答数
1. 買い物袋持参運動の展開	837
6. クリーンセンターの見学	483
2. 資源回収活動への支援 (資源回収活動事業推進奨励金)	390
3. 生ごみ処理容器購入者への補助	390
9. 転入者への窓口説明	279
8. リサイクル家具抽選会	272
13. ごみ問題を考える草津市民会議との連携 (リサイクルフェア・市内一斉清掃など)	265
11. 団体によるボランティア活動への支援 (ごみ袋無料配付等)	244
4. 段ボールコンポストの実践普及啓発	200
5. 環境学習体験講座	148
7. クリーンセンターでのワークショップ	96
10. 事業所へのごみの分別、減量指導	95
12. 「3010運動+」の取組み (食品ロス削減啓発ちらしの配布)	71
14. その他	15
未回答	99
合計	3,884



【結果概要】

「1. 買い物袋持参運動の展開」が72.2%と最も多く、その他の施策については、50%未満の認知度となりました。

「7. クリーンセンターでのワークショップ」、「10. 事業所へのごみ分別、減量指導」、「12. 「3010運動+」の取組み」は、近年取り組みを始めたことから、他の施策と比べ認知度が低い結果となっています。

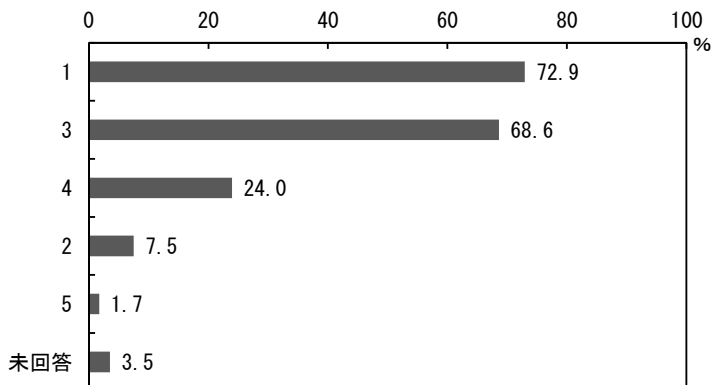
【5. 食品ロスについて】

目的

- ・国内外の潮流から、食品ロスについての認知度を把握する。
- ・食品ロスの発生理由を把握し、今後の施策展開の検討資料とする。

問5-1 食品ロスについて、該当するものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

	回答数
1. 食品ロスの言葉は聞いたことがある	846
3. 食品ロスが問題になっていることを知っている	796
4. フードバンク活動やフードドライブ活動を知っている	278
2. 食品ロスの言葉や意味も知らなかった	87
5. フードバンク活動やフードドライブ活動に参加したことがある	20
未回答	41
合計	2,068



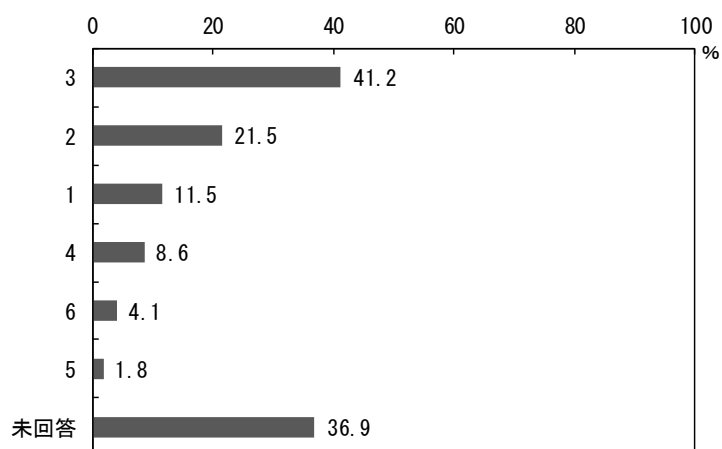
【結果概要】

「1. 食品ロスの言葉は聞いたことがある」が72.9%で「2. 知らなかった」という回答の7.5%を大きく上回っており、**食品ロスという言葉が浸透**しています。

また、食品ロスの認知度や問題意識は高いものの、「4. フードバンク活動やフードドライブ活動を知っている」は24.0%とやや低く、「5. 参加したことがある」は1.7%にとどまっています。

問5-2 日常生活で、食品ロスは出ますか。出る方は、その理由について、該当するものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)食品ロスが出ない方は問6へお進みください。

	回答数
3. 買ったことを忘れ、賞味期限・消費期限切れになる	478
2. 野菜の皮等を剥きすぎてしまう	249
1. 食べ残しが多い	133
4. 買いすぎて食材を使い切れない	100
6. その他	47
5. 外食で注文しすぎる (食べきれない)	21
未回答	428
合計	1,456



【結果概要】

食品ロスが出る理由としては、「3. 買ったことを忘れ、賞味期限・消費期限切れになる」が41.2%と最も多く、次いで「2. 野菜の皮等を剥きすぎてしまう」が21.5%となっており、調理時より食品購入以降が食品ロスの発生理由として多く挙げられています。

なお、「未回答」の36.9%は、食品ロスが出ないと回答した方となっています。

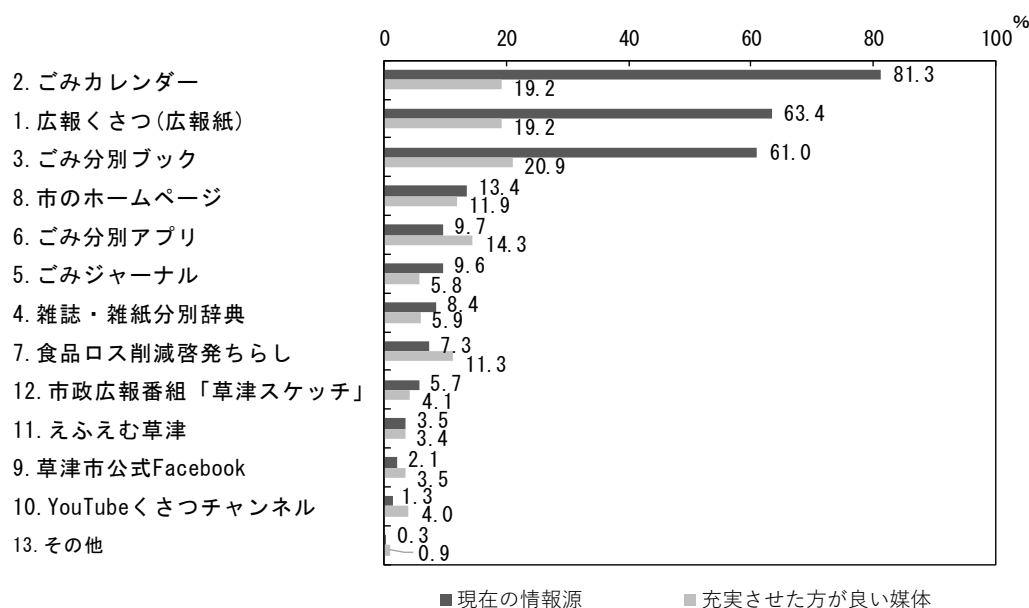
【6. ごみの減量化・資源化に関する情報入手方法について】

目的 市民のごみに関する情報収集手段について把握し、有用なものを継続し、効果の薄いものについて再検討する。

問6 次の情報媒体のうち、ごみの減量化、資源化などに関する情報を入手するための情報源として活用しているものについて、該当するものにすべて○をしてください。

また、今後情報を受け取る手段として、充実させた方が良いと思う媒体について、該当するものにすべて○をしてください。

	現在の情報源	充実させた方が 良い媒体
	回答数	
2. ごみカレンダー	943	223
1. 広報くさつ(広報紙)	735	223
3. ごみ分別ブック	708	243
8. 市のホームページ	156	138
6. ごみ分別アプリ	112	166
5. ごみジャーナル	111	67
4. 雑誌・雑紙分別辞典	98	69
7. 食品ロス削減啓発ちらし	85	131
12. 市政広報番組「草津スケッチ」	66	47
11. えふえむ草津	41	40
9. 草津市公式Facebook	24	41
10. YouTubeくさつチャンネル	15	46
13. その他	4	10



【結果概要】

情報源として活用しているものは「2. ごみカレンダー」が81.3%と最も多く、次いで「1. 広報くさつ(広報紙)」63.4%、「3. ごみ分別ブック」61.0%となっており、紙媒体による情報入手が多い状況です。

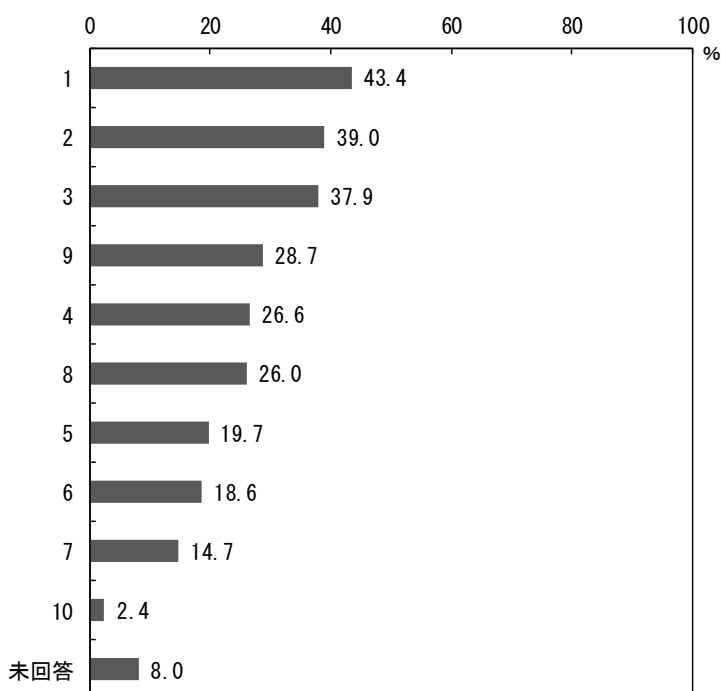
また、充実させたほうが良い媒体も回答数としては紙媒体が多くなっていますが、「6. ごみ分別アプリ」、「9. Facebook」、「10. YouTube」などで、充実させたほうが良い媒体との回答が現在の情報源との回答より多くなっており、電子媒体の充実も求められていることが分かります。

【7. ごみの減量化・資源化に関する知りたい情報について】

目的	市民のごみに関する情報のニーズを把握し、上位のものについてより積極的に発信するとともに、下位のものについても効果的な周知啓発方法を検討する。
----	--

問7 ごみの減量化、資源化などに関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

	回答数
1. ごみの分別の種類や出し方	504
2. 家庭でできるごみ減量方法	452
3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗	440
9. ごみ処理にかかっている費用	333
4. 食品トレイ等の回収を行っているスーパー等やその回収品目	308
8. ごみや資源物のゆくえ	302
5. イベント等の開催情報(リサイクルフェアなど)	228
6. 市のごみに関する施策や補助制度(資源回収活動や生ごみ処理容器購入への補助など)	216
7. ごみや資源物の回収量	171
10. その他	28
未回答	93
合計	3,075



【結果概要】

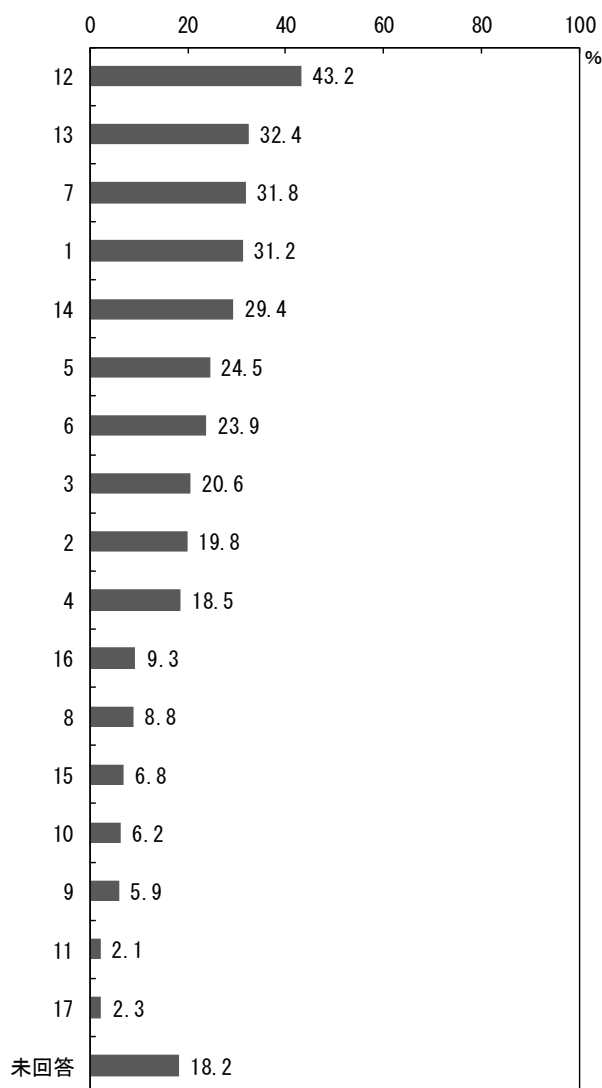
「1. ごみの分別の種類や出し方」という回答が 43.4%と最も多く、次いで「2. 家庭でできるごみ減量方法」が 39.0%、「3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗」が 37.9%であり、「7. ごみや資源物の回収量」などの情報に比べ、**個人で取り組めることや日常生活(ごみ出し・買い物等)に関わる内容に関心が持たれやすい傾向**にあります。

【8. ごみの減量化・資源化を進めるための施策について】

目的 市民が必要と考えるごみに関する施策を把握し、上位のものについてより積極的に施策展開を検討するとともに、下位のものについても減量効果等を勘案しながら必要性やその効果を周知し、施策につなげていく。

問8 さらにごみの減量化、資源化を進めていくためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。(特に重要と思われるものから○を5つまで)

	回答数
12. 分別が分かりにくいものを広報などで定期的に取り上げる	501
13. 衣類など、資源化できる品目を増やす	376
7. マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を促進する	369
1. 食べ残しを減らす等、ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する	362
14. 店舗等に対し、簡易包装や量り売り、店頭回収の実施を働きかける	341
5. フリーマーケットなどの不用品交換イベントを促進する	284
6. リユースショップの情報や不用品を売買できるような情報を提供する	277
3. 生ごみ処理容器や段ボールコンポスト等をより広く周知し、利用者を拡大する	239
2. 生ごみの水切りをより広く周知する	230
4. フードバンク活動やフードドライブ活動を支援し、広く周知する	215
16. 町内会やマンションなど、地域における自主的な取組みを広める	108
8. ごみ袋を有料化する	102
15. ごみの分別や減量化、資源化について地域で勉強会を開くなど、学習の場を設ける	79
10. ごみ袋引換券配付枚数を減らす	72
9. ごみ袋の容量(大きさ)を小さくする	68
11. 収集日を減らす	24
17. その他	27
未回答	211
合計	3,885



【結果概要】

「12. 分別が分かりにくいものを広報などで定期的に取り上げる」が43.2%と最も多く、次いで「13. 衣類など、資源化できる品目を増やす」が32.4%、「7. マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を促進する」が31.8%、「1. 食べ残しを減らす等、ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する」が31.2%、「14. 店舗等に対し、簡易包装や量り売り、店頭回収の実施を働きかける」が29.4%となっています。

特に重要と思われるもの上位5つを選択する設問ですが、特定の施策への集中は見られず、リデュース・リユースに関する選択肢である1~7および14、リサイクルに関する選択肢である12,13に回答が分散しています。なお、市民生活に直接影響のある選択肢である8~11の施策については、消極的な傾向がうかがえます。

【 9. ごみの分別について（その1）】

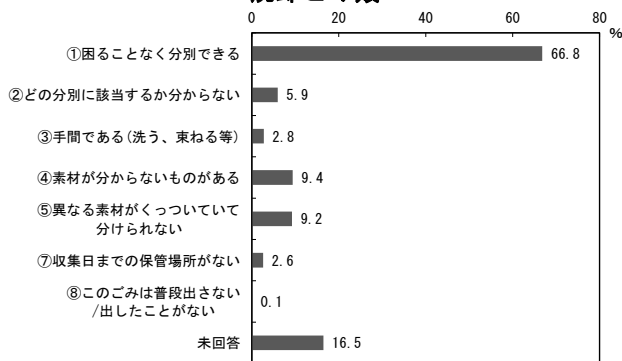
目的

市民のごみ分別に対する負担感や実際の分別行動、分別する際の課題を把握し、市民に周知すべき分別の注意点やさらに資源化できるごみ種について考察する。

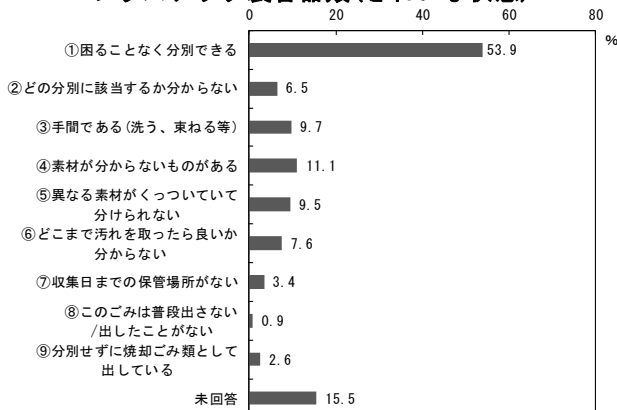
問9 現状の分別区分で、分別と排出の際に困っていることはありますか。

ある方は、あてはまるものをそれぞれお答えください。（それぞれ○は3つまで）

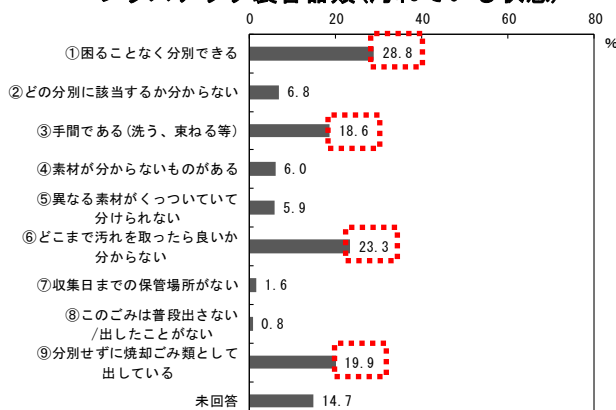
焼却ごみ類



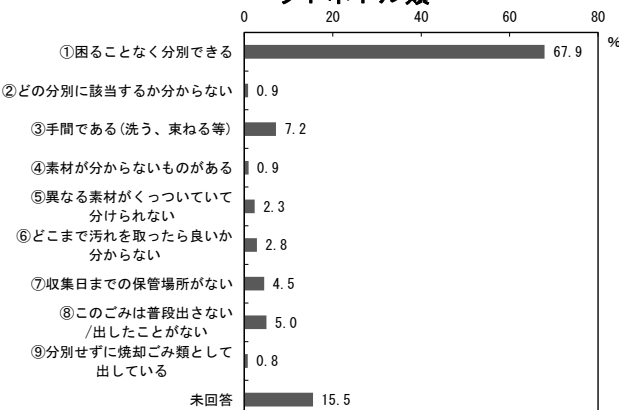
プラスチック製容器類(きれいな状態)



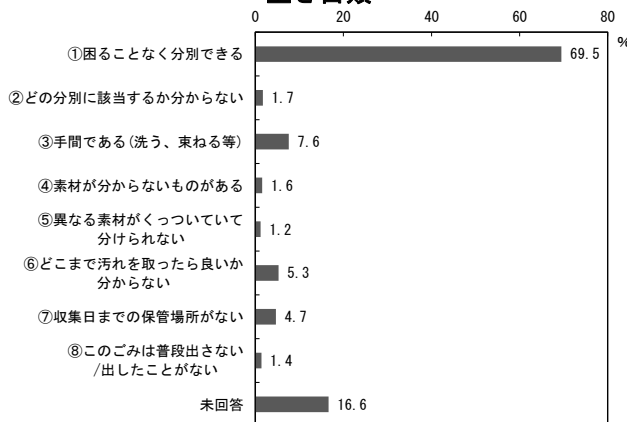
プラスチック製容器類(汚れている状態)



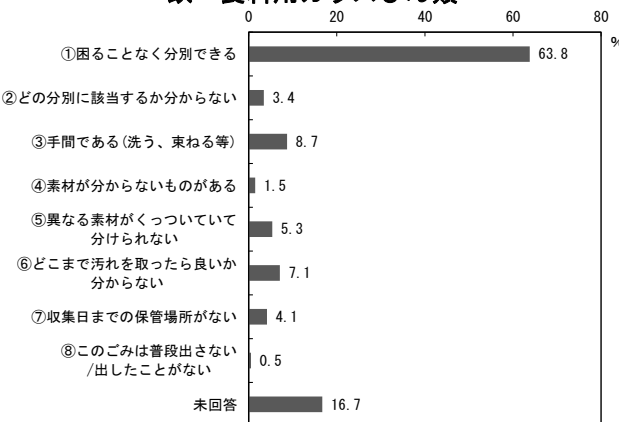
ペットボトル類



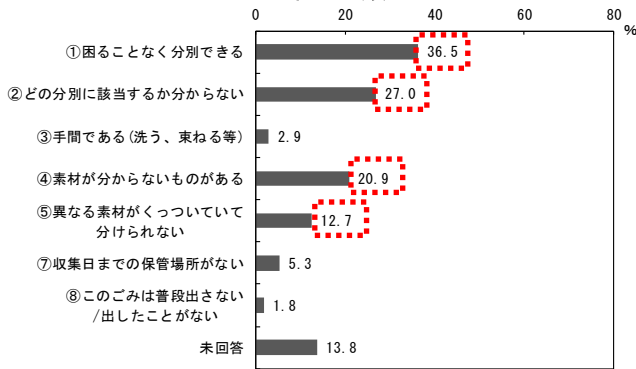
空き缶類



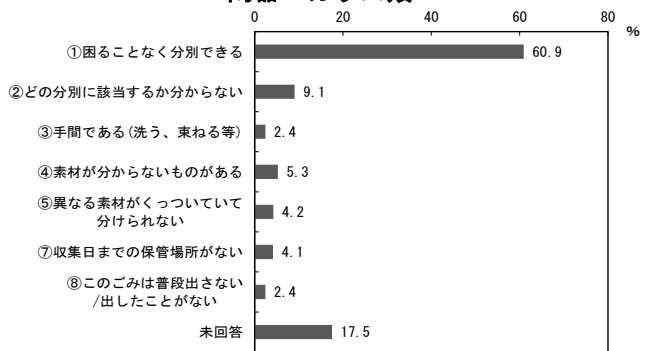
飲・食料用ガラスびん類



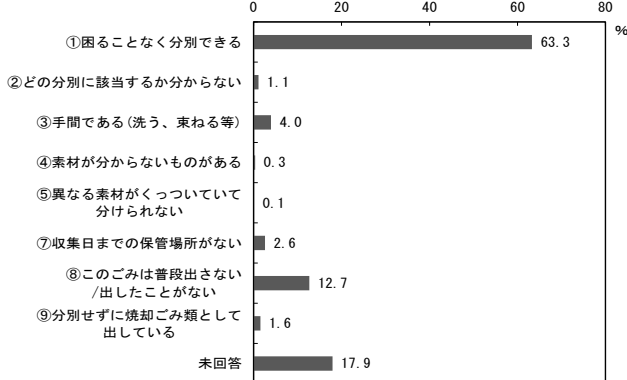
破碎ごみ類



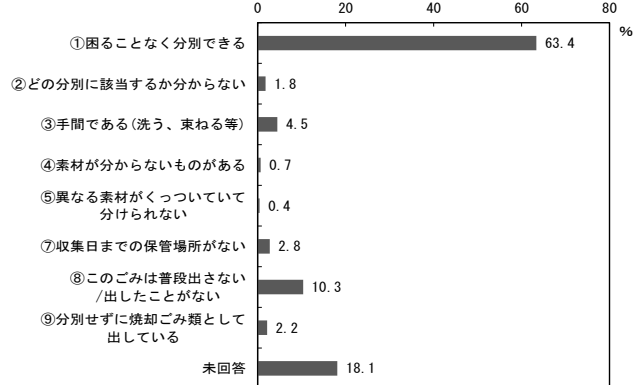
陶器・ガラス類



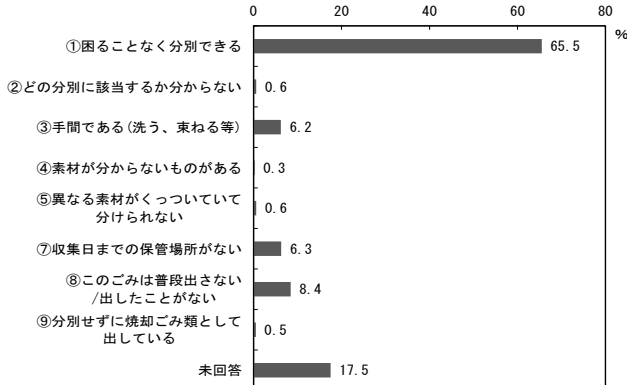
新聞・広告



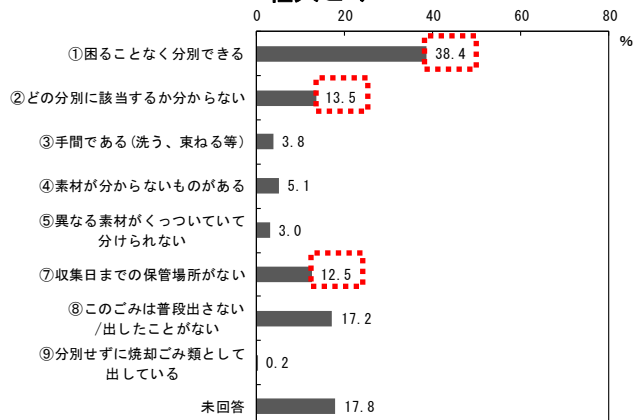
雑誌・雑紙



段ボール



粗大ごみ



【結果概要】

「プラスチック製容器類(汚れている状態)」、「破碎ごみ類」、「粗大ごみ」が、「困ることなく分別できる」割合が低く、分別に戸惑っていると考えられます。

理由として、「プラスチック製容器類(汚れている状態)」は、「どこまで汚れを取ったらよいか分からない」、「分別せずに焼却ごみ類として出している」、「手間である(洗う、束ねる等)」という意見が多く、**汚れの基準の判断**に戸惑う方が多いと考えられます。

「破碎ごみ類」は、「どの分別に該当するか分からない」、「素材が分からない」、「異なる素材がくっついていて分けられない」という意見が多く、**分別名称だけでは素材の判断がつかない**ため、戸惑う方が多いと考えられます。

「粗大ごみ」は「どの分別に該当するか分からない」、「収集日までの保管場所がない」という意見が多く、**大きさの基準**(50センチまたは10キロを超えるもの)が**十分浸透していない**ことや、大型であるため保管場所に困っていると考えられます。

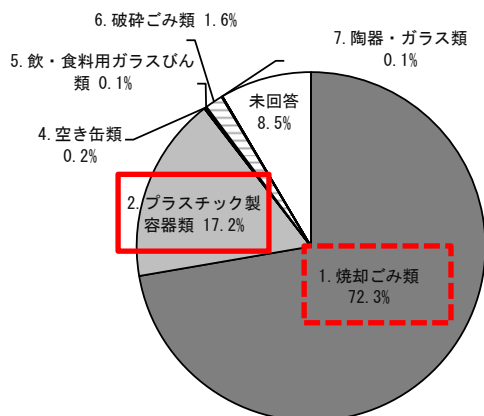
【 9. ごみの分別について（その2）】

目的 適正な排出割合を把握し、今後の分別啓発の参考とする。

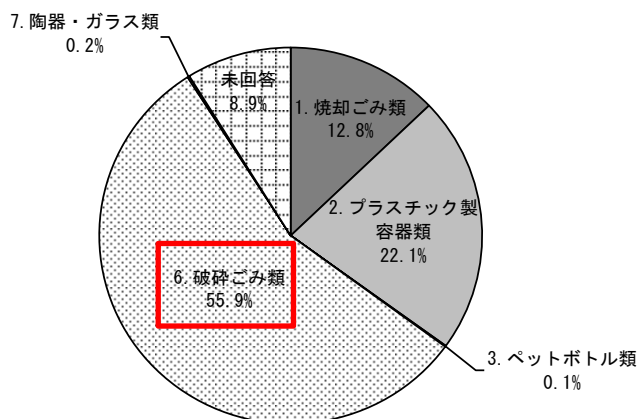
問10 具体的に①～⑩のごみを排出するときどの区分に分別していますか。あてはまるものに○を記入してください。（それぞれ○は1つ）

（が正解を示す。①におけるは汚れている（汚れが取れない）場合、③におけるは大きさによってそれぞれ正解である。）

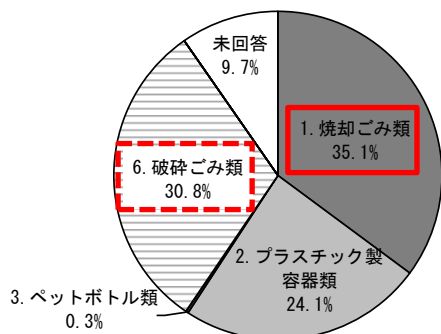
①調味料や歯磨き粉等のチューブ



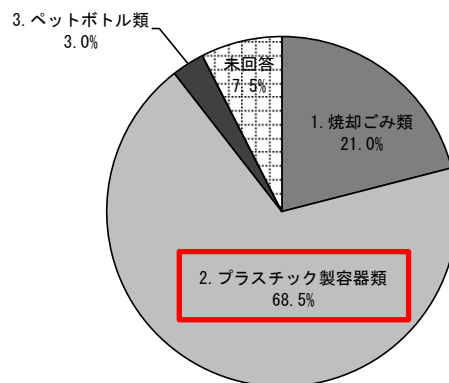
②プラスチック製バケツ・洗面器



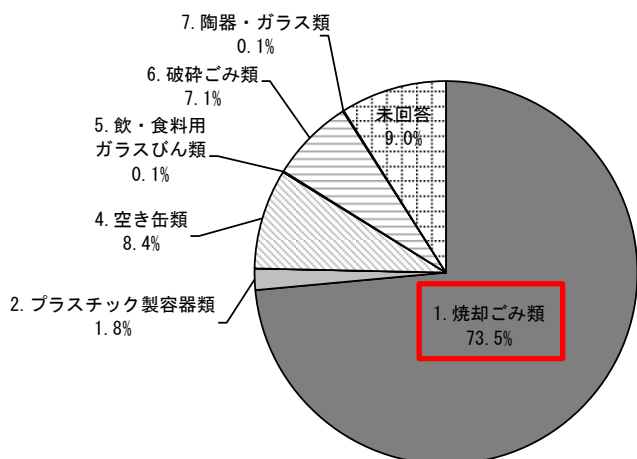
③プラスチック製ハンガー



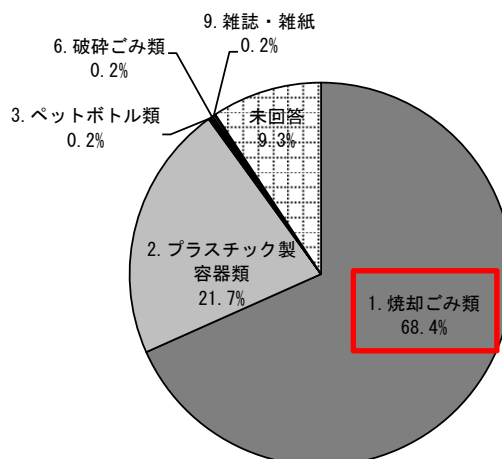
④ペットボトルのラベル



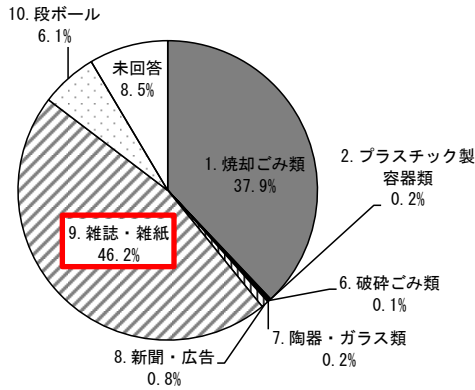
⑤アルミホイル



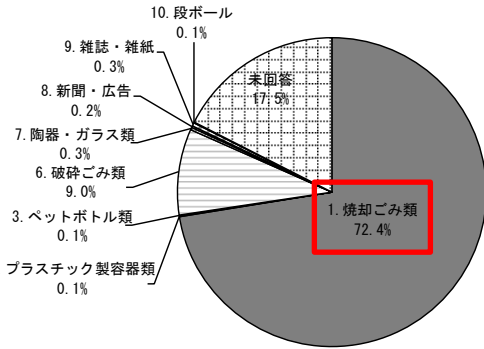
⑥家庭用ラップ



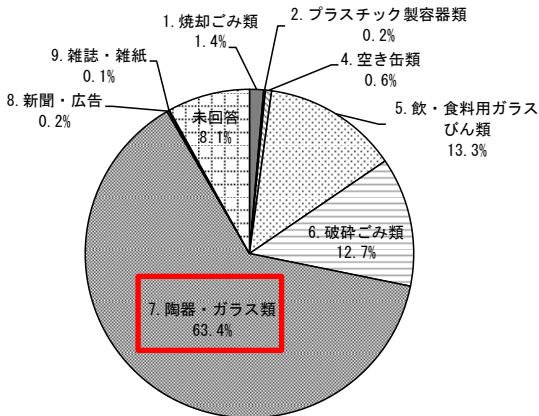
⑦紙製のお菓子の箱



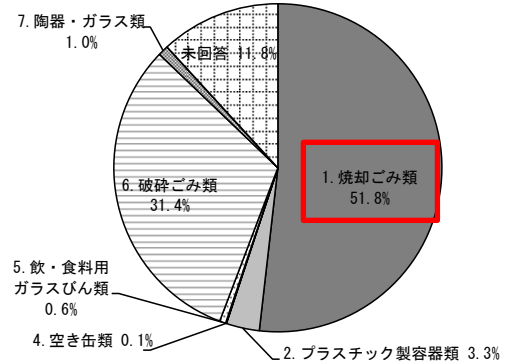
⑧ファスナーの付いた衣類



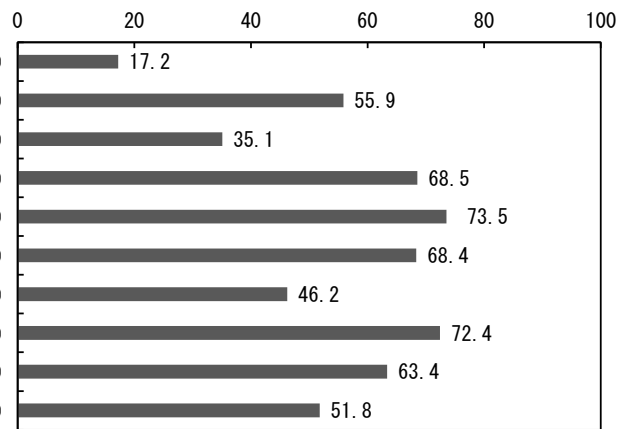
⑨化粧びん



⑩ゴムホース



正解率



左記グラフは、
部分のみ
 正解とし作成

【結果概要】

正しく分別されている割合が低い品目は、次のとおりです。

①調味料や歯磨き粉等のチューブ

正しくは、汚れを取り除いて「プラスチック製容器類」ですが、多くの方が、「焼却ごみ類」で出しています。多くの方が、**汚れを取り除くことに負担**を感じていると考えられます。

③プラスチック製ハンガー

正しくは、大きさによって「焼却ごみ類」・「破碎ごみ類」ですが、**プラスチック製品**であることから24.1%の方が、誤って「プラスチック製容器類」で出しています。

⑦紙製のお菓子の箱

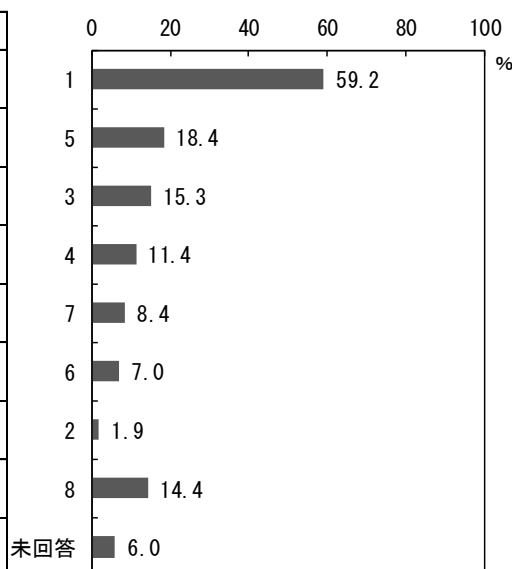
正しくは、「雑誌・雑紙」ですが、37.9%の方が「焼却ごみ類」で出しています。**雑紙としての認識が低いこと**や、**箱を開いたり、束ねたり、保管することに負担**を感じていると考えられます。

【10. ごみ袋引換券制度について】

目的	現行の引換券制度について市民が課題に感じていることを把握し、今後の引換券制度の検討にあたり参考とする。
----	---

問11-1 現在のごみ袋引換券配付制度についてどう思いますか？（〇はいくつでも）

	回答数
1. 今のままでよい	687
5. 無料の範囲(135袋)を超えた場合のごみ袋の金額(1袋当たり110円)が高い	214
3. ごみ袋の大きさが1種類であり、不便である(小さいサイズが欲しい)	177
4. 2人世帯以上で袋の枚数が一定(135袋)であり、袋が不足している	132
7. ごみ袋代やごみ処理費用の一部として、ごみ袋1袋目から有料(8円～40円程度)としている自治体が多く、草津市もそのようにすべきである	98
6. 無料の範囲内(135袋以内)であれば減量するメリットが得られない	81
2. 引換券の受取方法や交換方法が分かりにくい	22
8. その他	167
未回答	70
合計	1,648



【結果概要】

現在のごみ袋引換券配付制度に対しては、「1. 今のままでよい」という回答が59.2%と最も多くなっています。一方、「2. 分かりにくい」は1.9%と低く、**現行の制度は市民に広く浸透している**と考えられます。

なお、「5. ごみ袋の金額が高い」が18.4%、「3. ごみ袋の大きさが1種類で不便」が15.3%となっています。「4. 袋が不足している」、「7. 草津市も有料にすべきである」、「6. 減量するメリットが得られない」は10%程度でした。

今のままでよいという回答が約60%ですが、**指定ごみ袋の金額、サイズ、配付枚数、減量に対するインセンティブ（動機付け）に課題**を感じているという意見も一定数ありました。

【その他の主な意見について】

配付条件の改善や枚数不足について

- ・「家族が多い(オムツを利用する幼児もいる)ので足りなくなる」
- ・「子どもが多く、寝たきりの介護をしていると袋は全く足りなかった」
- ・「戸建住宅で敷地内の雑草や庭木の剪定枝等の処分で足りない」

適量の配付枚数について（世帯・人数等）

- ・「1人暮らし世帯で余る世帯と必要な世帯と枚数をふりわけて欲しい」
- ・「子育て世帯の配慮が必要」、「2人世帯でも5人世帯でも袋の枚数が同じなのは無理がある」

減量に対する優遇について

- ・「ごみの減量により引換券が余った時はいくらかで買い上げ/商品券に交換してもらえたら、もっと減量化が進むのでは」

袋のサイズについて

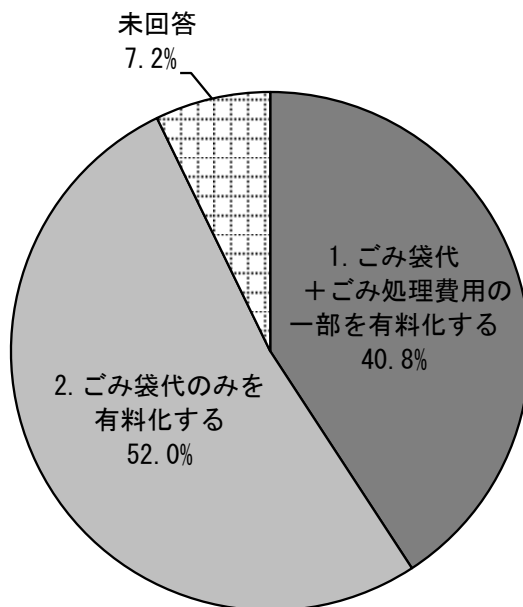
- ・「少人数の世帯が増えているので小さめの袋が有れば良いと思う」
- ・「大中小そろえて欲しい」

【11. ごみの有料化について】

目的 有料化に対して持つイメージをつかみ、今後の有料化検討に向けての参考とする。

問11-2 問11-1で7に○をつけた方にお聞きします。有料化にする場合、次のどちらが良いと思いますか。(○は1つ)

	回答数
1. ごみ袋代 +ごみ処理費用の一部を有料化する	40
2. ごみ袋代のみを有料化する	51
未回答	7
合計	98



【結果概要】

指定ごみ袋の有料化について、「2. ごみ袋代のみを有料化する」は 52.0%、「1. ごみ袋代+ごみ処理費用の一部を有料化する」は 40.8%となっています。

指定ごみ袋代として負担する費用については、ごみ処理費用を含む方が家庭での経済的負担の増加につながりますが、回答は二分され、その差は10ポイントほどです。

問 1 2 ごみ減量化・資源化等についてのご意見などをご自由にお書きください。

自由意見の中で最も多かったのは、「分別・排出」についてが最も多く（99件）で、次いで「指定ごみ袋」について（71件）、「ごみ有料化」について（44件）となっています。

1. 「分別・排出」について挙げられた主な意見

- ・今までプラスチックは洗って排出していたが、汚い物は焼却ごみに変わり矛盾を感じる。
- ・草津市は滋賀県の中でも他の市町村に比べて分別に関して厳しいと思っていたが、環境問題が問われるようになり、これが正しい方向性だと実感している。
- ・プラスチックで排出しても持ち帰ってもらえないことがある。破碎ごみ類と指示されたが、判断しにくい。硬質プラスチックとは画像などを使って具体的に周知してもらいたい。

2. 「指定ごみ袋」について挙げられた主な意見

- ・ごみ袋は大・中・小にしてほしい。大しかないの、量が少ない時に色々つめて捨てる。
- ・少人数世帯ではごみ袋が大きすぎて、半分くらいの時がある。冬場は2回分をまとめるという方法もとれるが、夏場はにおいや腐敗のことも考えると小袋も欲しい。
- ・ごみ袋の引換券制度は良いが、不足した場合の購入額が1枚110円というのは高すぎる。

3. 「ごみ有料化」について挙げられた主な意見

- ・地域住民に地球温暖化・ごみ問題の意識を高めることも行政の役割だと考える。ごみ袋や処理代負担も有料にすることでごみを減らす意識も強くなると思う。
- ・一定数無料配付は続けてほしい。無くなると指定ごみ袋を使わず捨てる人が増えると思う。
- ・トータルでコスト削減、環境負担減、その他の市の発展につながるのであれば納得感は得られる。

